

地域包括ケアシステム構築 へ向けた取組事例 ～東京都世田谷区の取組～

都市部の世田谷らしい
地域包括ケアシステムの構築

～自治体の概要～

東京都世田谷区

●地域概況

東京23区西部に位置し、人口規模は23区中最大。都内有数の住宅地であるとともに、大規模な都市公園や商業地、私立学校等を有す。

区では、区民主体のまちづくりや地域活動団体・NPO・事業者等との協働を推進しており、住民主体の地域活動が活発に行われている。

●人口 866,063人

●高齢化率

65歳以上 19.29%

75歳以上 9.77%



世田谷区の位置

世田谷区の地域図



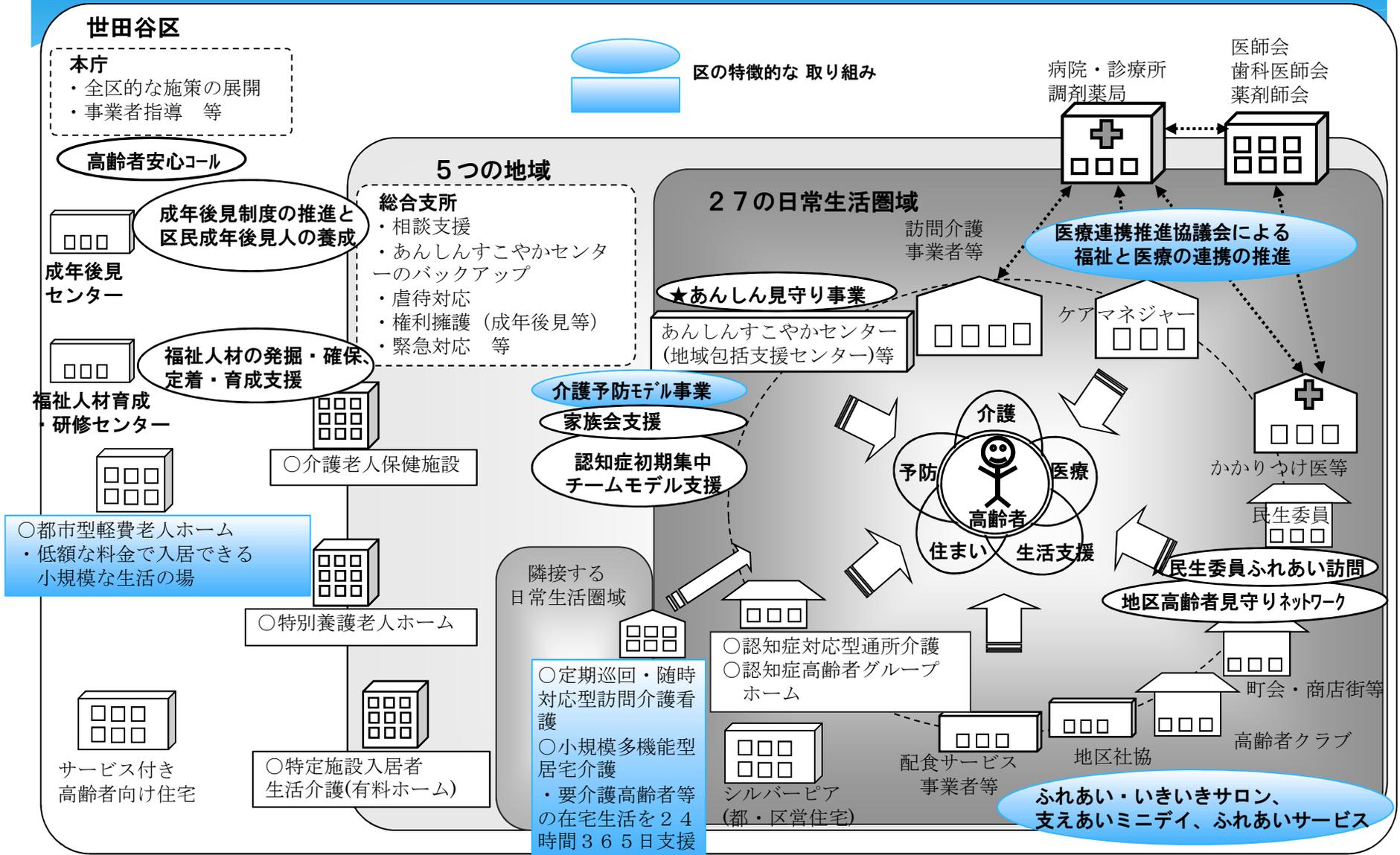
区民の土地を一般に開放した市民緑地(北烏山九丁目屋敷林)



©世田谷トラストまちづくり

私有の建物等を活用した地域活動と交流の拠点マップ【地域共生のいえ】

世田谷区の地域包括ケアシステムのイメージ図



○地域の豊富な資源やネットワークを区として最大限活用して、区内5地域（世田谷・北沢・玉川・砧・烏山）・27の日常生活圏域を基本としつつ、区全体で地域包括ケアシステムを構築

～取組の概要～ 第5期事業計画より開始

取組の経緯

(背景・地域の課題)

- 区独自に全高齢者実態把握調査を実施。その中で一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の合計が約半数を超えている実態が明らかに
- 第4期介護保険事業計画での課題を抽出
- 第5期介護保険事業計画の策定に向けたパブリックコメントで、身近な地域での健康づくりや介護予防の重要性等について、住民からの多くの意見

(取組のポイント)

- 地域包括ケアシステムの5つの要素をバランスよく取込んだ特徴的な取組み
 - ①医療 ⇒世田谷区医療連携推進協議会による在宅医療推進の取組
 - ②介護 ⇒定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用・事業展開の推進
 - ③予防 ⇒社会参加を通じた介護予防による高齢者の居場所と出番の創出
 - ④住まい⇒認知症高齢者GHや社会資源等を有効活用した都市型軽費老人ホーム等の整備
 - ⑤生活支援⇒住民団体・社会福祉協議会主体の地域活動の推進 …等
- NPO・事業者・大学・行政等約70団体が連携・協力して、高齢者の社会参加の場や機会づくり、応援を行う「せたがや生涯現役ネットワーク」を作るなど、社会参加を促進



世田谷区の特徴的な取組

分野

取組の背景

取組のポイント

医療

在宅医療の充実に向けた連携体制づくり

- 連絡会等による福祉と医療の顔のみえる関係づくり
 - ケアマネタイムや医療と介護の連携シートによる福祉と医療の情報の共有化
- などの取組を、医療関係者やケアマネジャー等で構成する**世田谷区医療連携推進協議会**を中心に推進

介護

安心できる高齢者の在宅生活の実現

- モデル事業実施の実績を活かし、**定期巡回・随時対応型訪問介護看護を平成24年4月から区内全域で提供できる体制を確保し、計画的に整備を推進**
- 新サービスの普及に向け、利用者や介護事業者等へパンフレットや事例集を配布

予防

高齢者の居場所と出番の創出（モデル事業による新たな介護予防の取組）

- 地域包括支援センターによる**社会資源を活用した高齢者の居場所づくり**（喫茶店・大学等の活用）
- 中高年層ボランティアの活動促進（買い物支援等）
- リハ職等専門職による訪問で生活機能低下に対応（環境調整、動作指導等）

住まい

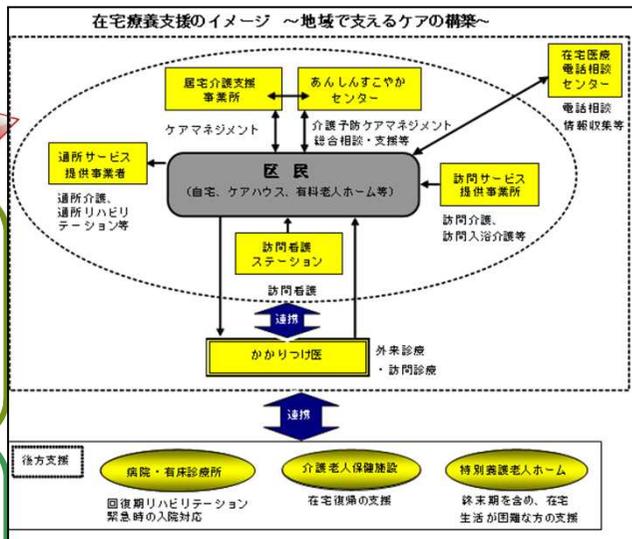
社会資源の有効活用による低所得高齢者等の居住の場の確保

- 区立高齢者センターを民営化**し、デイサービス・ショートステイに併設した**都市型軽費老人ホームをオープン**（H25.8月開設予定）
- 都営住宅建替え跡地に整備される特養への都市型軽費老人ホームの併設

生活支援

公的サービス以外の地域活動・資源の活用

- 地域資源（空き家・空き部屋等）をうまく活用した地域活動（サロンやミニデイ等）の拠点整備**
- 社協主体の生活支援サービス事業の提供（ふれあいサービス事業）**や住民ボランティアの立ち上げ・運営支援



医療と福祉の連携に向けた体制イメージ

福祉施設の送迎車両の遊休時間帯を利用した買物ツアー



ボランティアが添乗



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のパンフレット

ふれあいサービス事業の実績（H24年）

- 協力会員：634名
- 利用会員：1,241名
- サービス利用時間：39,055時間



©茶論ONECOINE

オーナーが自宅の車庫を改修して、住民の地域活動と交流の場として提供（一財）世田谷トラストまちづくり <地域共生のいえ>